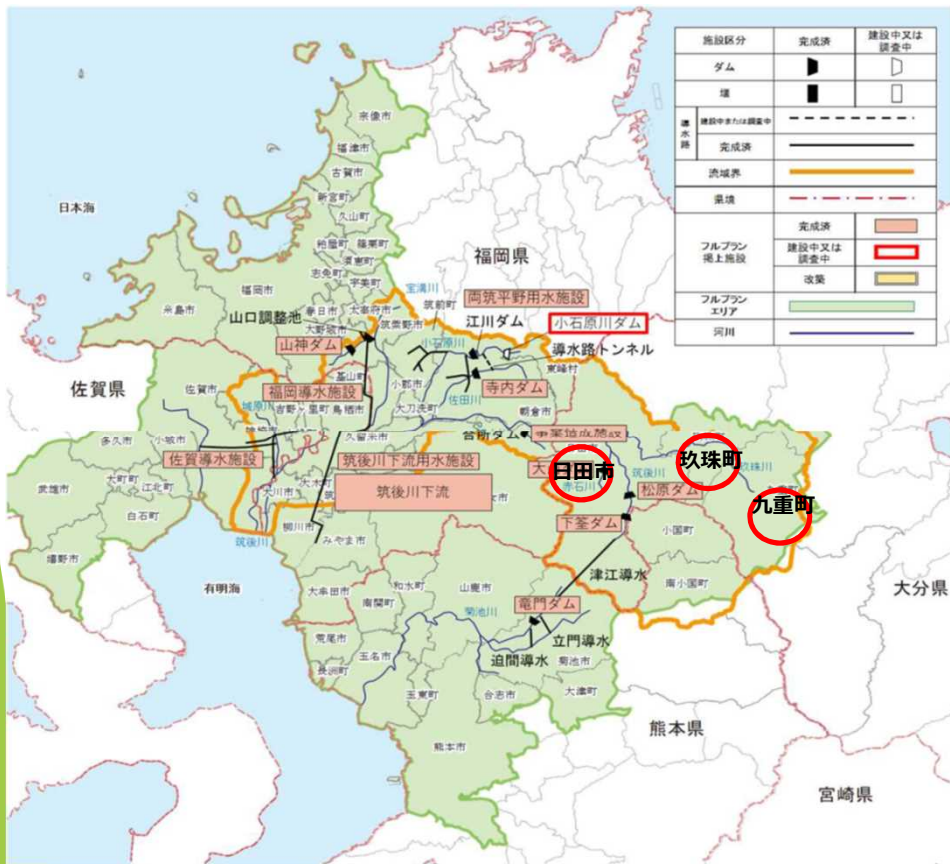


大分県における渇水・大規模自然災害、 施設の老朽化等に関する取組みについて

令和4年6月8日
大分県土木建築部河川課

大分県における水利用の概要



フルプランエリア（水道用水のみ）

県内18市町村のうち、日田市・九重町・玖珠町の3市町

給水人口：63,841人

（令和3年3月31日時点）

大分県における主な渇水状況

年度	概要
平成17年度	梅雨時期においても小雨傾向がみられたことから大分県大分地方振興局が大分地域農林水産関係連絡室を設置。 また、6月20日～7月3日までの期間において大分川水系芹川に位置する芹川ダムの水位が発電停止水位を下回ったことにより発電を停止した
平成23年度	平成22年8月以降小雨が続いたことにより大分県農林水産部が平成23年度4月7日に「大分県農林水産部渇水対策連絡会議」を設置し、4月25日に知事が「渇水緊急対策事業」の創設を発表した。また、平成22年度末から県内4市にて渇水対策本部等が設置された

大分県における主な渇水状況

発電可能水位を下回ったことによる発電停止期間

年度	ダム名	期間
平成6年度	芹川ダム	7/22～7/26
平成6年度	芹川ダム	8/7～8/12
平成17年度	芹川ダム	6/20～7/3
平成21年度	芹川ダム	6/14～6/29
平成23年度	北川ダム	1/16～2/29
平成24年度～ 平成25年度	北川ダム	1/30～4/10
平成25年度	北川ダム	12/8～12/13
平成26年度	北川ダム	2/5～3/8
平成26年度	北川ダム	3/25～3/31
平成30年度	北川ダム	1/25～2/25
令和2年度	北川ダム	12/19～2/28

水供給の安全度を確保するための対策

【給水ネットワークの運用】

〈給水ネットワーク構築図〉



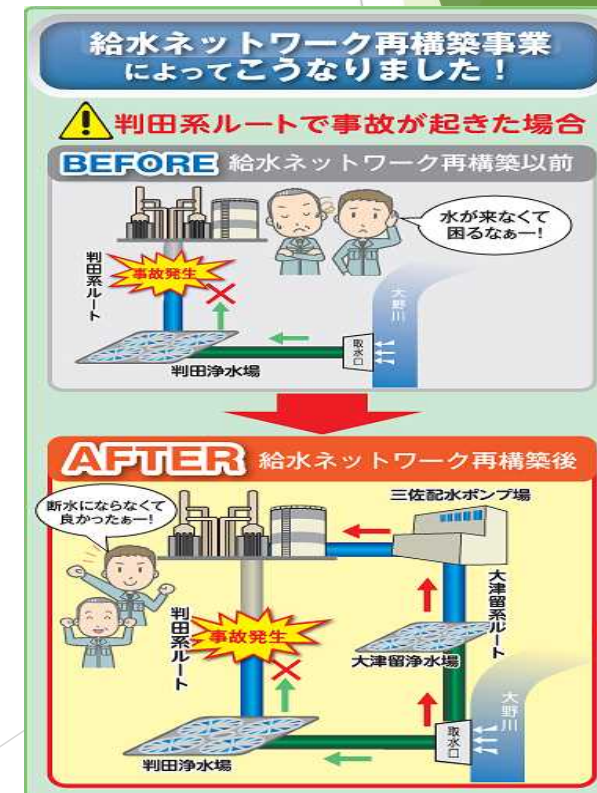
水供給の安全度を確保するための対策

【給水ネットワークとは】

- ・ 工業用水を送る設備のうち、5つの隧道のどこかで崩落などの事故が発生しても、他のルートを用いることで給水を継続することができるシステム

【給水ネットワークのメリット】

- ・ 従来の送水ルート以外からの取水が可能となり、安定的な給水体制を構築
- ・ 隧道の断水が可能となり、隧道の点検・補修の実施が可能



危機時に必要な水を確保するための対策

【給水ネットワークを用いた隧道点検及び補修】

- ・ 隧道の本格的な点検を行い、必要に応じて補修を実施することにより、災害に強い安定的な給水体制を構築する。

〈隧道点検〉



危機時に必要な水を確保するための対策

【給水ネットワークを用いた施設の災害対策】

- ・ 隧道の点検・改修と併せ、施設の耐震化及び浸水区域内の施設の浸水対策推進



判田浄水場



大津浄水場

危機時に必要な水を確保するための対策

【緊急給水車による支援活動に関する契約】

- ・ 公益財団法人大分県薬剤師会との間で、大規模災害時や飲料汚染事故等により断水またはその恐れが生じた場合において、緊急車両により支援活動を実施する契約を締結
- ・ 令和3年度1月の日向灘を震源とする地震の際には由布市に給水車の派遣を実施

危機時に必要な水を確保するための対策

〈令和3年度1月 由布市派遣時の写真〉



水源地域対策、教育・普及等

【水の日及び水の週間に係る横断幕設置】

- ・ 例年、8月1日の「水の日」及び8月1日～8月7日までの「水の週間」に横断幕を設置し普及活動を実施

(横断幕設置写真)

